

# 平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	地域住民への介護の理解促進事業			会計	款	項	目	大	小
政策	O4	4節 誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	介護支援課					
施策	4-2	高齢者や障害者がいきいき暮らせる社会づくり	主管課長	豊田 武彦					

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	地域住民、介護職経験者等	意図	介護の知識や技術等について情報を得て、介護の担い手のすそ野拡大による介護人材の増加と技術向上を図る。
事業内容	介護の知識や技術等の習得及び介護者支援を実施することができる講座の実施。			
事業開始から現在までの状況変化	千葉県介護人材確保事業補助金を活用し、平成28年度から実施。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	ちよつともっと介護塾参加者数	51	43	54	
②	ちよつともっと介護塾開催回数	2	2	2	回	→→	
③							
④							
⑤							
⑥							

  

指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）		
事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事務事業の総コスト(a=b+c)	1,528,000	1,985,495	1,768,400
事業費(b)(円)	155,000	643,095	450,000
うち一般財源			
職員給与と費(c)(円)	1,373,000	1,342,400	1,318,400
人役・職員(人)	0.20	0.20	0.20
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)			
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

介護に関心のある地域住民の参加が得られたが、介護職に関心のある人や介護職への復職を考えている人の参加は少なかった。参加者が体験できる講座を多く設けたため、満足度が高かった。（平成29年度は介護キャラバン隊事業も委託事業として実施。）

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
				コストの削減	A 削減の余地はない	
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	周知期間を十分に取り、応募につながるようにする。	③取組における課題(Check)	介護職に興味のある人や介護職への復職を考えている人の応募が少なかった。
②H30に実施した取組(Do)	市広報、ホームページでの周知のほか、市内公共施設や介護事業所、ハローワークへのチラシ送付、メール配信、SNSを活用し、講座実施の前月上旬より周知を行った。	④課題に対する今後(H31~)の改善計画(Action)	介護職に興味のある人や介護職への復職を考えている人の目に触れるよう、周知期間を引き続き十分取るほか、チラシ配架場所の拡大を図る。